

<会津中街道旧道発見記念イベント> 会津中街道山歩き旅 参加報告

主催：会津中街道交流実行委員会

後援：日本山岳会・ふくしまけん街道交流会

趣旨：① 風光明媚で変化に富んだ会津中街道の山岳地帯（奥那須・北那須）を歩く。

② 約 320 年前の会津藩の参勤交代、156 年前の戊辰戦争の道筋を歩く。

③ 江戸時代の白湯山信仰の道筋（三斗小屋宿跡～静ノ平～御宝前の湯）を歩く。

④ 三斗小屋温泉「大黒屋旅館」に一泊し、「会津中街道及び奥那須、北那須の魅力を見直すシンポジウム」を開催し、参加者の交流を図る。

期日：令和 5 年 9 月 13 日（水）・14 日（木）

参加者：日本山岳会会員、一般参加者

栃木支部からの参加者：関根、菱田、大島

コース：9 月 13 日（水）野際宿（観音沼駐車場）－日暮ノ滝－大峠－三斗小屋温泉

9 月 14 日（木）三斗小屋温泉－三斗小屋宿〔－麦飯坂－沼ッ原駐車場〕

9 月 13 日 8 時、福島県下郷町の観音沼駐車場に集合し、会津中街道交流実行委員会事務局 佐藤淳一様のご挨拶、各自の自己紹介の後、総勢 17 名（2 名は途中で引き返した）で、8 時 20 分に出発した。大峠に向かうには、一般的にこの駐車場から 5 km ほど先まで車で入るが、今回は会津中街道を歩くということで、福島県側最後の宿、野際宿のあったところから歩き始めた。自動車道から外れると、石仏や石碑があちこちにあり、街道があったことがよくわかる。

会津藩士有賀左司馬が戊辰戦争で戦死したといわれる場所の石仏、一里塚などの説明を会津中街道交流実行委員会事務局の佐藤氏から伺いながら進んだ。街道は、下郷町森林組合の協力によって、整備が進められ、昨年訪れた時よりさらに歩きやすくなっていた。

地理院地図に名は記載されていないシブ沼と呼ばれる沼があり、温泉が出るとのことであったが、街道から外れるため、沼が見えるところまでは行かなか

った（Google Map には、スミノマ池と書かれた池があるが、その近くの茶色く見えるのがシブ沼と思われる）。この近くで、下郷町森林組合の方が作業をされており、カラマツ人工林を本来の自然植生に近い森林へ導いていくプロジェクトについての話を伺った。



佐藤氏から解説を受ける参加者



一里塚（街道の両側にある）



森林組合の方から解説を受ける参加者

見どころが多く、いろいろな話を聞いていたので、大峠を越えたのは、予定の12:15から大きく遅れた14:00。峠沢を越えたところで分岐があり、右へ下りていくのが街道、左に進むのが三斗小屋温泉への道。街道を進み、三斗小屋宿へ進むのが当初の計画であったが、温泉へ直行した。

最後の沢、赤岩沢へ下るところで、参加者の一人がけがをした。そのため全員が三斗小屋温泉大黒屋に到着したのは、17:00過ぎとなった。ここで、峰の茶屋から三斗小屋温泉往復組と合流した。



三斗小屋温泉 大黒屋



シンポジウム

夕食をいただきながら、シンポジウム開催となった。何人かの方々から、貴重な話、面白い話を聞くことができた。

翌9月14日は、白湯山参詣路コースとして、御宝前ノ湯、両部ノ滝へ行くことが計画されていた。しかし、多くの参加者が、前日予想外の長くて険しいコースで疲れていたこと、滝へは藪漕ぎに近い道を上り下りしなければならず、やや危険を伴うことから、三斗小屋宿へ直行し、そこからゴールの沼ッ原へ行くことに変更した。大島、菱田、他1名は宿まで下りたところで、迎える車でスタート地点の観音沼駐車場に戻った。他のメンバーは沼ッ

原へ向かった。

今回の会津中街道山歩き旅は、普通の山登りとは違って、街道にまつわる歴史をいろいろと伺うことができ、また多くの方と交流ができて、とても有意義なものであった。この旅は、これからも開催されるということなので、また是非参加したい。

(菱田記)

